

積水ハウスのグループホームモデルプラン

2003.03.20

はじめに

グループホームはいわゆる「施設」ではありません。「家らしい施設」でもありません。それはまさに「家」そのものです。

一人暮らしを余儀なくされた痴呆高齢者・知的障害者等の人たちにとって、住まいや環境がもたらす不安感は想像以上に大きな問題なのです。居住者はお互いに、元々の家族関係でも肉親でもありませんので、一定水準のプライバシーは必須条件ですが、アットホームな感覚を決してなくしてはなりません。

当社は、生活モジュール「メーターモジュール」を基本的要素に、長年「生涯住宅」の研究・実践で培った生活ノウハウを活用し、高齢者は勿論のこと、誰もが安全に生活し易い「グループホーム」のモデルプランを提案致します。

特徴

コンサルティング営業の推進

オーナーの方や運営会社と連携をより密接にし、プラン提案だけでなく、行政との折衝、申請業務、収支シミュレーション、入居者についての相談等、積極的にコンサルティング営業を展開します。

研究成果から生まれた設計デザインの提案

メーターモジュール、バリアフリー、ユニバーサルデザインなど、総合住宅研究所での様々な研究・取り組みから生まれた設計手法、部品部材群をグループホームにも展開します。

高齢者に優しい基本仕様

床暖房、エアコン、高断熱ペアガラスサッシを標準採用。快適な温熱環境の下、高齢者が安心して生活できる住まいです。

高齢者の就寝後のトイレの回数は想像以上に多く、半数以上が就寝後に1回以上トイレに起きます。また、脳血管疾患である脳卒中の発生場所としては、便所や浴室が最も多く、高齢者が安心して生活するためには、冬季において便所や浴室の暖房が必要不可欠であることが分かります。更に、高齢者、特に女性に多い慢性関節リウマチなどの疾患に対しても、床暖房によってその症状が改善されるという調査結果があります。積水ハウスのグループホームは必要な場所に暖房設備を整え、建物の断熱性能を上げることで、高齢者が安心して快適に生活できる高齢者の「住まい」を提案いたします。

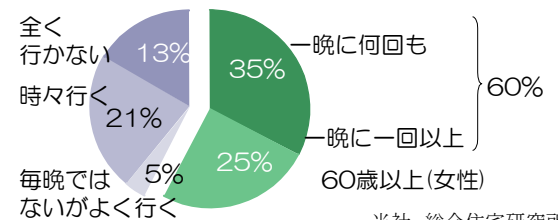
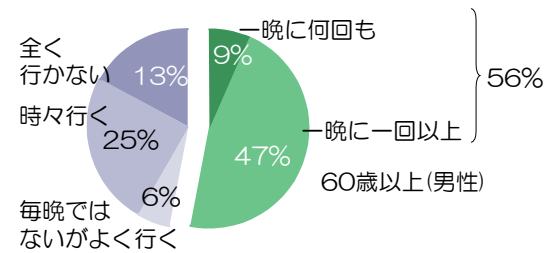
高品質で低価格なグループホームを提供

高品質・高性能で使い勝手の良い設備・部材を使用することで、入居者には快適な住み心地を提供するとともに、メンテナンス費用や介助負担の軽減に配慮しています。



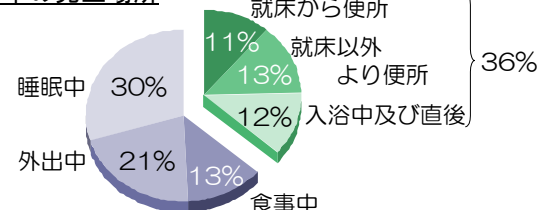
グループホーム(総2階タイプ)外観パース

高齢者の就寝後のトイレの回数



当社、総合住宅研究所調査

脳卒中の発生場所



(株)トクヤマ: 人と住宅の健康読本partII

モデルプランの「建物概要」及び「販売価格」

構造	軽量鉄骨造・メーターモジュール		設備仕様	電気設備	TV共聴、インターホン、照明器具 他
床面積	プランA(平屋)	676.9㎡(204.8坪)		衛生設備	換気暖房ユニットバス、ウォシュレット便器、手摺 他
	プランB(総2階)	708.7㎡(214.3坪)		厨房設備	システムキッチン、スタッフ用ミニキッチン
外装仕様	外壁・屋根	SHウォール・カラーベスト		住器設備	追い炊き用給湯器、エレベーター、自火報設備 緊急呼出装置 他
	サッシ	高断熱ペアガラスサッシ		空調設備	エアコン(居室・共用部)、換気システム、床暖房 他
内装仕様	床:フローリング調長尺塩ビシート 壁・天井:健康クロス			販売価格	50万/坪より